

学生、保護者の皆さまへ

新型コロナウイルス感染拡大に伴う遠隔授業での対応について

本学では、4月の時点で、当面遠隔授業で対応することとしていましたが、緊急事態宣言解除後に、北九州市の感染者数が多く発生したため、1学期は遠隔授業で行うこととし、学生の課外・学外活動についても自粛していただいているところであります。大学での様々な活動を楽しみにされていた学生さんには、大変心苦しく思っております。

遠隔授業においても、十分な準備ができない状況で始めざるを得なかったため、不自由をおかけしているかもしれません。しかし、大学としては、教職員に研修を実施したり、授業実施状況の把握に努めたりと、教育の質を落とさないように取り組んでおり、個々の教職員も学生のためにより授業を提供するよう努めています。

さらに、感染の影響による経済的な家計急変に対して、国の支援に加え、本学でも経済的支援も実施し、とくに全学生に対して、学修環境整備支援金を支給いたしました。

2学期からは、対面授業を徐々にはじめていく予定ではありますが、今後の感染状況によっては、まだ学生及び保護者の皆様にご不便をおかけすることもあるかと思っております。ご理解をいただければと思っております。

今年は、春をどこかに置いてきてしまった思いです。すでに、キャンパスの木々は青々とし、緑に映えた風情を見せています。ただ、いまだキャンパス内にはほとんど学生の姿はなく、蝉の鳴き声だけが響きわたっております。一日でも早く感染が収束し、日常のキャンパス風景が戻り、置いてきた春を取り戻せることを願っております。

北九州市立大学学長 松尾 太加志